

【R4】玉名圏域定住自立圏における官民連携型の 持続的な空き家相談体制等構築事業（熊本県玉名市）

別添資料4

熊本県の玉名圏域定住自立圏(玉名市、玉東町、南関町及び和水町)において、圏域内の民間事業者等と連携し、空き家相談体制等の構築を目指した、持続的な人材育成・仕組みづくりのための取組を実施

■ 事業概要

事業部門	部門1 専門家等と連携した空き家に関する相談窓口の整備等を行う事業
事業地域	熊本県玉名市
背景・課題	空き家の増加に伴い建物倒壊による危険性の増大、公衆衛生の悪化、景観の阻害等多岐にわたり社会問題化するなか、玉名圏域定住自立圏の構成市町(玉名市・玉東町・南関町・和水町)においても増加する空き家に対する対策が急務となっているが、一方で、空き家相談体制が整備されていない等、空き家対策が不十分な状況
目的	玉名圏域定住自立圏に空き家を所有する者、将来的に空き家となる可能性のある物件を所有するも者等を対象に気軽に空き家相談ができるような体制を構築するとともに、圏域内の民間事業者とも密に連携することにより、売買・管理・処分等、具体的なアクションにつながるようなエコシステムのあり方を検討する。
連携する団体・役割	玉名定住自立圏(玉名市、玉東町、南関町及び和水町):関係部署・圏域内事業者との調整 特定非営利活動法人空き家コンシェルジュ:広域連携・官民連携による体制構築に関するアドバイス・サポート

■ 取組内容と成果

①空き家対策の執行体制・庁内連携体制構築検討

持続的な空き家対策を進めていくため、玉名圏域定住自立圏の官民連携型の執行体制について、中間支援組織の立ち上げも含め、専門家を招聘し検討した。

②地域の専門家団体等との連携体制の構築

上記①と合わせ、地域内の不動産、法務、建築等の専門家団体等への個別ヒアリング・意見交換の場を設け、地域の実情に合った連携体制のあり方を検討した。

③空き家コーディネーター(仮称)の育成及び活用方法検討

持続的な相談体制構築のため、民間事業者と連携し、空き家に関する相談対応が可能な「空き家コーディネーター(仮称)」を育成する。また、コーディネーターの効果的な活用方法・運用方法などについても合わせて検討を行った。

[空き家コーディネーター養成講座]

日時:令和4年10月31日(月)9:00~12:00 場所:玉名市文化センター大研修室 参加実績:29人



空き家コーディネーター養成講座